

令和3年度 長崎市立鳴見台小学校 学校評価集計

学校評価

ピンクは肯定的割合80%以上
黄色は、80%以下

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	91	91	100	学校教育目標達成に向けて実践してきたことに対し、保護者の理解を得られている。学校の雰囲気に対しての評価が児童や教職員は上がっているが、保護者が昨年度より悪くなっている。コロナ禍で、学校に来る機会が減り、学校の様子がなかなか伝わらないと思われる。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	92	93	95	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			95	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			71	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	85	84	52	教職員がルールやマナーを守れていないと評価していて、昨年度よりも下がっている。生活指導や基本的な生活習慣の定着指導の徹底を行わなければならない。3学期は、全職員一丸となって、「そらえる」指導を行っている。次年度に向けても課題となる。悩みや相談、いじめ問題については、申告のあった事案には、担任、管理職共によく対応している。生活アンケートも毎月実施し、把握しようと努力しているが、それ以外にも、日々の観察に努め、気になる様子があれば、積極的に対応していく必要がある。特別支援教育については、関係機関やSC、SSW等とも連携し、個に応じた支援を行ってきた。今後もより個に応じた指導を行っていききたい。
		挨拶をよくしている	83	80	95	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	66	71	95	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	89	82	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	85	77	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95	89	91	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	95	91	95	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	97	81	91	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	90	89	91	はばたき農園活動は、今年度もコロナ禍で、例年どおりの活動ができず、8割程度の実践であったが、地域の方々の協力により、できたこと自体を感謝したい。各担任の日頃の準備や指導が実り、わかりやすい授業を行っている児童、教職員は高評価だが、コロナ禍で保護者は授業を見る機会が少なく、評価が下がっていることが残念である。家庭学習については、宿題の量や自学の推進など、今後も改善していく必要がある。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	98	87	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	91	71	90	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	88	66	80	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		94				
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	91	91	100	コロナ感染予防については、日頃の感染予防対策の指導が定着してきて、児童自身の意識の向上が見られる。家庭の協力も得て取り組むことができていた。一方で、バスの三密回避については、本数を増やしてもらおうようお願いしているが、課題である。コロナ禍において、運動が制限されたこと、体力向上についての取組が低下しているが、コロナ禍でもできることを推進していききたい。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	80	83	85	
		体力向上に努めている	80	83	91	
	食育	食に関する教育活動を行っている	90	86	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97	91	100	情報提供については、担任による通信や学校長によるHPの更新で、伝えている。コロナ禍で地域行事やPTA行事もほとんど中止となり、児童が参加する機会がなくなった。地域の方との連携もなかなか図ることができなかった。集団下校についても学年間で確認することや、1年生の引き渡し訓練ぐらしかできなかった。次年度は、集団下校や引き渡し訓練を行い、災害に備えた安全管理を強化していく。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる		87	95	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	49	85	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			95	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	94	91	95	児童数増による教室や備品などの準備を計画的に進めていかなければならない。職場環境については、肯定度が下がったので、働きやすい職場づくりを進めていきたい。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			91	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

<p><成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の評価は、昨年度と比べるとポイントが下がっている項目が多かった。コロナ禍で、授業参観や学校行事の中止や縮減などで、なかなか学校の様子を見てもらう機会がなかったということであろう。昨年度から、知徳体のワーキンググループを作り、教職員が児童の課題・改善のための手立てを考えた取組を行った。その点については、今年度も効果が出ているので、引き続き取り組んでいく。児童と教職員の評価についても下がっている項目や肯定度が9割を切る項目がいくつもあった。目指す児童像・そのための手立てなどを全職員で共通理解・共通実践していききたい。 <p><対策></p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度は、児童や職員の頑張っている様子を伝えるため、通信やHP、ICT活用を進めていきたい。
--

6 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、びっくりするくらいよく挨拶をする。外でもよく挨拶をしている。 バスを待っている時に座り込んでいる姿を見ることもある、バスに乗っている時の態度はどうか。 GIGAスクールについては、共通したルール作りや適切な使い方の指導が必要なのではないか。 センター給食が始まったが、どうなのか。給食室は、どうなっているのか。 児童数が増えてきているが、教室数は足りているのか。 コロナ禍でもあり、学校と保護者のコミュニケーションが少なくなってきたが、ここの地域はいい地域だと思っている。学校、保護者ともうまくやっていきたいと思っている。とてもいい地域なので、よさを伸ばしていきたい。
--

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

<ul style="list-style-type: none"> あいさつは、2学期に学校全体で取り組んだので、大変よかった。大きな声であいさつできるようになった。取り組みの成果が出ている。 バスの利用者は、年々増加している。低学年は、担任がバス停まで連れて行って乗せているが、バスの待ち方乗り方の指導は、今後もしていかなければならない。 GIGAスクールについては、どんどん進めている。学校でのルールを作り、適切な使い方の指導をしていく。来年度は、家庭での持ち帰りが始まるので、しっかり指導していきたい。 センター給食については、最初は冷たかったが工夫をされてだんだん温かくなってきた。アレルギー対応も始まり、安全性を重視した給食が提供されている。 令和5年度にプレハブが建設予定。令和4年度は、学童が建設予定。 学校全体では、全体でそろって指導していこうとしている。それをうまく発信して様子を伝える努力をしていかなければならない。
